

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助演習 I Seminar of Social Work I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士国家資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	月曜～木曜の授業以外の時間		授業中に指示します
授業の概要				
社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。				
授業の目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なコミュニケーション技術及び面接技術を習得することができるようにする。</li> <li>・自己覚知に取り組み他者理解に努めることができるようにする。</li> <li>・基本的な面接技術を身につけることができるようにする。</li> </ul>				
授業の方法				
演習を中心に授業を展開するが、必要に応じてテーマに応じた講義を行う。 演習後には小レポートやディスカッションで振り返りを行う。				
学習の成果（学習成果）				
相談援助における基本的技術として自己理解・他者理解ができ、相手の立場で面接を実施することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等）、相談援助演習の意義			
第2回目	コミュニケーショントレーニング			
第3回目	人を理解する① “自分”を理解する			
第4回目	人を理解する② “人”を理解する			
第5回目	人を理解する③ クライエントを理解する			
第6回目	人の“こころ”を理解する① 他者の“こころ”を理解する			

第7回目	人の“こころ”を理解する② 自己の“こころ”を理解する	
第8回目	人の気持ちを理解する① 他者の気持ちを理解する	
第9回目	人の気持ちを理解する② 自己の気持ちを理解する	
第10回目	人の行動を理解する① 他者の行動を理解する（実習記録Ⅰ）	
第11回目	人の行動を理解する② 他者の行動を理解する（面接）	
第12回目	人の行動を理解する③ 自己の行動を理解する（実習記録Ⅱ）	
第13回目	相談援助における面接技術① 相談援助における面接の目的と特性、面接の基盤	
第14回目	相談援助における面接技術② 面接における基本的応答技法	
第15回目	相談援助における面接技術③ 面接の展開・非言語コミュニケーション	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合 評価の基準
	授業参加態度	40% 以下の点で評価します。授業の準備を整え、遅刻せずに出席していること。演習への積極的な参加。演習の目的を理解できていること。
	レポート	50% 演習の振り返りとして与えられたテーマ、意図に即した内容であること。自分自身の振り返りがなされていること。
	調査報告書	
	小テスト	
	試験	
	発表内容（態度含む）	10% 個人やグループでの発表が適切に行われているかどうか。
	その他	
教科書と参考図書		
参考資料：「相談援助演習」社団法人日本社会福祉士養成校協会 監修／中央法規 授業初回に指示します。		
履修上の留意点・ルール		
私語、携帯電話の使用を禁止します。授業に関係のないもの（携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳）はかばんにしまうこと。		